SORA
web magazine 2016.mar. vol.69

Travel

Lapas Mexico

MAP CLICK!

ラパスの海は、ワンダーランド!

Photo & Text: Yasuaki Kagii

メキシコ・バハカリフォルニア半島に位置するラパスは、カリフォルニアアシカと遊んだり、ジンベイザメと泳いだり、ハンマーヘッドシャークを見たり、またまた、ナイトダイビングでモブラ（ヒメイトマキエイ）の群れと遊んだりと他の海とはひと味もふた味も違ったダイビングを楽しめる。ダイブクルーズ船と日帰りトリップを選択して、もしくはその2つをミックスして、野生の海、ラパスを是非、堪能して欲しい。アシカのシーズンは6月～11月中旬だが、お薦めは9月～10月下旬まで。その時期が安定して、アシカと遊ぶことができる。是非、海中のワンダーランド、ラパスの海へ!

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島
tsumishima.com
We World explorer
（株）ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2016
World Tour Planners Co.,Ltd.
All Rights Reserved.

ラパスに来たら、やっぱ、ロスイスロテスでしょう!

Lapas
Mexico ラパス Travel

ラパスの街の沖合にあるロスイスロテス島は、100匹以上の野生のアシカが棲む無人島。水面から突き出た岩肌は、海鳥たちの糞で白っぽく染まっている。水面近くの平らな岩場は、たくさんのアシカたちが寝そべり、「うぉ! うぉ!」と鳴き声を上げている。風下からボートで近づくと獣の匂いが鼻につく。島の近くでエントリーする、他の海よりも少し塩分濃度が濃いような海の中、ガイドさんの後についていくと、すーっとアシカたちが現れる。毎年、子供のアシカが遊んでくれる場所はおよそ決まっているようで、ガイドさんに案内されて、そこに到着。岩の亀裂の奥に並んだアシカの子供に手を差し伸べると、甘噛みしてくれる。甘噛みと言っても立派な歯をもつ野生の生き物なので、怖いと思う人は、スノーケルなどを手に持って遊ぶこともできる。(時折、アシカにスノーケルを持っていかれるのでご用心)。でも、目の前でアシカの赤ちゃんを見ると、その可愛いさに、きっと手を甘噛みされたくなるはず(笑)。また中には、髪の毛をむしゃむしゃしたり、脇の下に入って来ようとするアシカちゃんもいて、そのいたずら好きと個性の違いがこれまた可愛い。昨年のロスイスロテスは、浅瀬にアジがたくさん群れていて、魚影がとても濃かった。その魚群にアシカが突っ込んでいったり、ウミウが追いかけたりと、とても賑やかだった。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島
We World explorer

数年に一回、アシカの島の周辺が、
イワシなどのお魚の群れで溢れ、アシカたちの遊び場になる！

Lapas
Mexico ラパス Travel

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島

毎年6月に生まれたアシカの赤ちゃんがどんどん成長し、9月、10月になると水中で私たちダイバーと遊んでくれるようになる。私は毎年10月の中旬にラパスに訪れるようにしていた。それは私の経験上、アシカの赤ちゃんと遊ぶのに適した時期だと長年の経験から確信していたから。しかし、今回は初めて9月上旬にラパスを訪れてみた。海の中にアシカはたくさんいるが、アシカの赤ちゃんは、少し距離を置いてやっと手を甘噛みしてくれる感じだった。時期的にやはり早いかな? と思っていたが、予想外の別のラッキーが現れた。それは、生後2〜3年目のアシカたちが、とても遊んでくれたのだ。「前は、僕たちととても遊んでたよね! また今年も遊ぼうよ?!」という感じで、どんどんダイバーに迫ってきてくれた。中には、ダイバーの間を行き来し、タンクを抱きしめたり、アシカとの自撮りができるものまで現れた。これは本当に可愛い。野生の生き物とは思えないスキンシップを楽しむことができた。ラパス、最高!

何なんだ?!
この野生の生き物は???

クルーズ船でしか行けない、ラスアニマスとサンフランシスキート

Lapas Mexico ラパス Travel

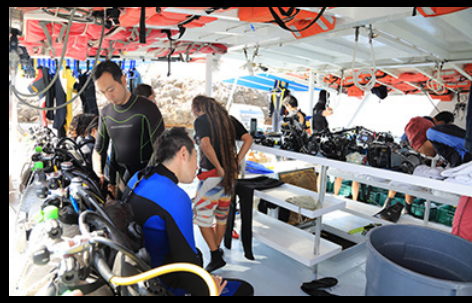
クルーズ船で行ける最北端のポイント、ラスアニマスに到着。水面からいくつもの岩礁が顔を出す。ファーストダイブは、ディンギーを使用して少し離れ根のポイントにエントリー。潮当たりの陰になっているところから、少し水深を下げて潜っていく。深場のところでギンガメアジが群れていたが、少し遠い。また名前の分からないアジの仲間のようなお魚たちもパラパラと泳ぎ去る。キラキラとしたお魚が群れで来たな! と思ったら、ガフトップセイルポンパノだった。そして、潮当たりに良い方向に泳いでいき、力尽きて浮上。2本目はクルーズ船からエントリー。岩沿いに進み、パシフィッククレオールフィッシュやイエローテイルサージョンフィッシュなどがたくさん群れている上を見上げると、アシカたちが水面で休息していたので、それを撮影してラスアニマスでのダイビングを終えた。そして、約2時間南下したサンフランシスキートでもアシカダイブ。背の低い細長い島が、水面に浮かぶ。そこにはアシカのコロニーが数個あり、成熟したアシカたちが集まっている。エントリーして、メキシコ版ヨスジフエダイの群れに囲まれる。アシカの鳴き声が響く方に向かうと、水面で休憩しているアシカたちが待っていてくれた。大人なアシカたちと大人な感じで楽しんで1ダイブを終えた。

主役のアシカを引き立てる脇役(?)たち

アシカの島では、アシカがやっぱり主役だけど、マクロの生き物も面白い。水深16mほどの砂地の海底では、コルテス海の固有種のジョーフィッシュを2種類見ることができる。大きい方のファインスポッテッドジョーフィッシュは、頭の大きさが拳大以上あり、目もぎょろりとかなりの迫力。大きいからか、物怖じしない性格で、接近してカメラ撮影などもできる。小さい方のジョーフィッシュは、カラフルなキュート系。茶色に青い斑点のブルースポッテッドジョーフィッシュ。普通サイズで、性格は様々な接近を許してくれる個体から、すぐに巣穴に隠れてしまうものも居る。他にも鼻の下が伸びたようなパナミックファングドブレニーやチョロチョロと泳ぐ姿が目に付くスポッテッドシャープノーズパファーも可愛いし、キングエンジェルフィッシュやコルテスエンジェルフィッシュの大型のヤッコ系も出会えると嬉しい。

tsumi-shima ダイバーの夢をつみあげていく島 We World explorer

Lapas Mexico ラパス Travel



今回、お世話になったダイブクルーズ船は、アドベンチャー号

ダイビングの為に設計された船で、かなり使い勝手は良かった。客室は、2段ベットの2名部屋と2段ベットが2つある4名部屋。室内は広くはないが、清潔感がある。メインデッキは、レストラン兼みんなが集まるスペースで、ここでブリーフィングが行われる。シャワー、トイレは共同スペースとなる。客室、メインデッキ、シャワー、トイレスペース、水着などを干す2階への階段の4つが、ぐるっと1周することができる動線になっていて、とても使い勝手が良かった。ダイブデッキも広く、十分なスペースが確保されている。そして、食事が美味しかった。メキシカンシェフが作るお料理は、毎回お皿に盛りつけられて出て来る。タコス以外はビュッフェ方式ではないが、足りない場合はおかわりもできる。ダイビングの合間のスナックも充実。フルーツにチップスなどがふんだんに提供される。飲み物は基本的にフリーで、アルコールに関しては、毎日3枚のチケット制で、チケット1枚で、ビールやテキーラ、マルガリータを注文できる。

tsumi-shima ダイバーの夢をつみあげていく島 We World explorer

Lapas Mexico ラパス Travel

驚きのナイトモブラ

2日目の夜に、クルーズ船はエンセナダグランデに停泊。夜を迎える前に、船から大きなライトを海中に照らす。そうして待っていると、水面に黄土色の陰が…。大きさは座布団ほど。数は10枚。ガイドのマルコが「もうモブラは集まっていますので、ナイトに行きましょう!」と合図する。少しみんなより早くエントリーして海底を覗いてみる。水深5mほどの砂地に到着すると20枚ほどのモブラが海底をパレードしている。その姿は壮観! 「これはすごい!」と慌てて撮影の準備を開始していると、次々とダイバーが降りてきて、円を描くように着底。すると、みんなのライトで集まったプランクトンを狙って、モブラの群れが乱舞を始める。全体を見渡すことができないために、総数は分からないが、50枚以上は確実。目の前を通り過ぎて、静かになったと思っていたら、また群れで「どどっ!」と現れる。中には、勢い余ってダイバーに接触する個体も居るので、そこは注意した。同じように海底にはハリセンボンやエイも餌を求めて集まってきた。賑やかなナイトダイブは、忘れられないナイトダイブとなった。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島
We World explorer

Lapas Mexico ラパス Travel

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく島

ダイブクルーズもお薦めだけど、デイトリップもお薦め!

　ラパスの海を丸ごと楽しむにはダイブクルーズがお薦めだけど、デイトリップもかなり素敵。今回お世話になったダイビングセンターのサンライダーは、メインの海岸通りであるマレコン通りにあり、そこに8時に集合。パンやフルーツなどの朝食を頂き、9時頃にお店の前の桟橋から出航。サンライダーの船はとても早く、ポイントまでひとっ飛び!（と言っても一番遠いエルバホまで約1時間50分）午前中に2ダイブを行い、静かな入り江でランチタイム。みんなでアボカドたくさんのサンドイッチを手作りする。午後に1ダイブ。ポイントは、アシカのロスイスロテスなどクルーズとほぼ変わらない。そして、帰路に船上からイルカなどを楽しみながら、暗くなる夕方前には、ラパスの街に帰ってきている。シャワーを浴びて、ラパスの街へ!　少し体力がいるかもしれないけど、楽し過ぎるから、心も身体も元気なままなのだ!　鍵井個人としては、デイトリップも大好き!

大物ポイントのエルバホなど、ラパスのダイビングポイント

ラパスのダイビングの魅力はもちろん、アシカだけではない。まず注目されるのが、エルバホ。大物と出会えるビッグポイントして有名で、狙いはハンマーヘッドシャーク。まず、潮流があるために、アンカロープ沿いに潜降を開始する。海底から伸びる1本の長いロープ沿いにダイバーが鯉のぼり状態となる。その様子は、冒険ダイビングの始まりのようで、気分が高揚する。そしてみんなで一塊となって海中を泳ぎ始める。青い海中に浮かぶダイバーの一行は、宇宙船のようにも見える。ポイントは、ガイドの動きに注目するということ。やはり、ガイドはハンマーヘッドシャークを見つけるのが早い。可能ならば、ガイドの後ろに位置しているほうが良い。海水温の変化などによって出現率は異なるが、高確率でハンマーヘッドシャークと出会うことができる。写真をとることはなかなか難しいが、目で見ることはできる。エルバホでは、他にもカジキやマンタと出会える可能性もある。そして、スポットテイルグラントやバラクーダなどの魚影の濃いスワニーリーフもお薦め。白い砂地にある細長い根で、そこにはぐっちゃりとお魚が群れている。コルエテス海の生き物をじっくり観察したい方にはもってこいのポイントだ。その他、沈船ポイントなどバラエティーあるポイントが散らばっている。

Lapas Mexico ラパスTravel

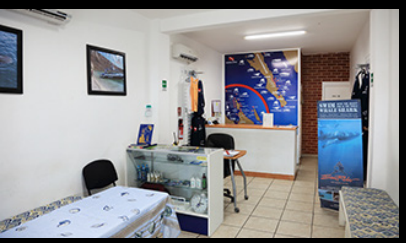
tsumi-shima ダイバーの夢をつみあげていく島

ジンベイザメの捕食シーンに遭遇!!

ラパスの海では、高確率でジンベイザメに会うことができる。どのような海域で会えるのか? というとダイビングスポットでも会える可能性もあるが、多くはラパスの町の近くの湾内。ダイビングを2本終えて、3本目のダイビングをジンベイザメスノーケリングに変更したりして、会いにいくことが多い（クルーズでは最終日に行う）。ボートからスキッパー&ガイドさんが目を凝らして、水面を見つめる。少し緑がかった水面に黒い影が映る。ジンベイザメだ!　個体によって、どのくらい泳ぐことができるかは異なるが、この湾内では、捕食してるシーンがよく見られる。彼らが大きな口を空けて、海水と一緒にプランクトンを飲み込むシーンは圧巻で、近くで観察しているとまるで自分も飲み込まれそうになる。捕食モードになるとあまり泳ぐこともないので、とても楽チンでジンベイザメとの時間を楽しむことができる。1日の最終エントリーがジンベイザメとのスノーケリング。ラパスの海はたくさんの思い出を与えてくれる。

Lapas Mexico ラパス Travel

tsumi-shima ダイバーの夢をつみあげていく島



今回、お世話になったサンライダー

海岸線のメイン通り・マレコンの中央に位置するサンライダー。カボサンルーカスに本店があり、約4年前にラパスに支店を持つ。現在日本人ガイドはいないが、ラパスでの経験豊富なメキシコ人ガイドのマルコは、日本語がペラペラなので、言葉の心配はない。また彼は、男前でホスピタリティもあり、日本人ダイバーのことをよく理解している。彼は基本的にクルーズ担当で、デイトリップは別のメキシカンガイドになるが、その場合、日本語通訳の方が乗船し、ケアしてくる。クルーズ船からデイトリップ、ジンベイザメスイムと様々なボートを駆使し、ラパスの魅力を教えてくれる。今、勢いのあるダイビングセンターだ。

ラパスの街には、美味しいものいっぱい!

Lapas Mexico ラパスTravel

ラパスの街は、海岸線を中心に碁盤目のようになっている。簡単な地図さえあれば、簡単に町歩きを楽しむことができる。海岸線沿い周辺は、観光地を意識したお店も多く、レストランやバー、お土産屋さんが軒を連ねる。メキシカンレストラン、タコスの屋台、メキシカンシーフードレストラン、パスタ屋さん、すし屋さんなどがある。また少し海岸線から中に入ると地元のメキシカンも利用するスーパーなどもあるので、お土産を探しがてら覗いてみたい。美味しいレストランなどはガイドさんが知っているので、是非、聞いて欲しい。またコンビニもあるので、色々と便利。ダイビングを終えて、街に戻ってきて、夕方以降に楽しむことになるが、夜も出歩ける街なので、異国の雰囲気を楽しんで欲しい。

バッファロー

ロスマグアイズ

タコフィッシュタコス

街の中心にあり、とても便利なセブンクラウン

マレコン通りに位置し、ダイビングセンターのサンライダーからも近いセブンクラウン。ラパス郊外のリゾートホテルではないが、海岸線に真っ白な建物がひと際目立つ素敵なホテル。客室は清潔感があり、広さも十分。朝7時から空いているレストランからは、ラパスの海を一望できる素敵な空間。街の中心に位置する為に、何かと便利なホテルだ。

tsumi-shima ダイバーの夢をつみあげていく島 We World explorer